



# 令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福島県】

学校名【いわき支援学校くぼた校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ <b>V</b> （複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	全生徒 生徒数：29名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（保健体育、総合的な探求の時間） ② 行事名（オンライン講演会） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	(1)「する、見る、支える、調べる」などのスポーツへの多様なかかわり方について知ることができる。 (2) 様々なスポーツについて調べたり、講演を通して競技について知ったりすることで、スポーツに関する興味関心を高める。
5 取組内容	(1) 総合的な探求の時間「調べ学習」の実施（3学年） ア 日時 5・6月（計10時間） イ 内容 「オリンピック・パラリンピック競技について知ろう」  (2) 保健体育科「体育理論」の実施（2学年） ア 日時 7月16日（金） イ 内容 「スポーツへの様々なかかわり方について知ろう」 

(3)「オリンピック・パラリンピック競技の観戦」の実施（全学年）  
ア 日時 9月2日（木）・9月9日（木）



イ 内容 「オリンピック・パラリンピック競技を観戦しよう」

(4) 外部講師による講演会の実施（くぼた校・勿来高校全校生徒）  
ア 日時 1月18日（火）（オンライン講演）

イ 内容 「オリンピック競技の経験と競技の魅力について」  
講師 早稲田大学競走部 山内大夢氏



## 6 主な成果

(1) 各実践から

- 様々な活動を通して、オリンピック・パラリンピックの情報や種目に触れる機会を設定してきたことで、オリンピックやパラリンピックに対する関心が向上してきた。
- 東京オリンピックに出場した現役アスリートを講師として、オンライン講演会を実施した。実際にオリンピックに出場し、年齢も近い選手の話聞くことで、様々な困難があっても努力することの大切さを感じたり、スポーツについての興味関心を高めたりすることができた。また、多くの人の支えがあって競技を続けられているという話を聞くことで、今年度のテーマである「スポーツへの多様なかかわり方」について考えることができた。

(2) アンケートの結果から

- 本事業の実施後に、全生徒を対象に、「オリンピック選手の講演を受けて感じたこと」としてアンケート調査を実施した。
- アンケート結果から、オリンピック選手の講演を受けたことで、オリンピック競技に興味があった、次年度は別な競技の講演も受けてみたいなど、オリンピックに対して興味関心が高まったという意見が多く見られた。

## 7 実践において工夫した点（事業の特色）

- スポーツに対する多様なかかわり方として、「する」だけでなく、「見る」「支える」「調べる」といった多様なかかわり方について知り、体験することを目的としていたことから、保健体育や総合の授業を活用しながら様々なかかわり方を実践した。また、「する」「見る」に関しては「一流選手の競技を見てみたい」、「一緒に走ってみたい」という生徒も多くいたことから、オリンピック選手を講師に

	<p>お招きした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン講演会では、一流選手の話を知ることができたことで、一流選手のスポーツを「する」ことに対する考え方や、スポーツを「支える」人たちの大切さについて触れることができた。</li> <li>生徒たちの興味関心に沿って活動を展開することができたことで、より興味関心をもって取り組むことができた。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業を継続して実施してきたことで、オリンピック・パラリンピックに対する理解や興味関心が高まってきた。今年度は東京オリンピック・パラリンピックがあり、興味関心がより高まりやすい年であったが、今後も継続してスポーツに様々な形で触れることが必要だと考えられる。</li> <li>今年度は「スポーツに対する多様なかかわり方」をテーマに本事業を展開した。今年度は自分たちが「する」という経験の場が少なかったため、次年度に向けては今年度高まった興味関心をもとに様々な競技に主体的に取り組めるようにしていきたい。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は感染症の影響もあり、あまり実施することができなかったが、同じ校舎内で学んでいる勿来高等学校とのスポーツを通じた様々な交流活動を展開することで、共生社会にむけた活動の充実を図っていきたい。</li> <li>今年度と同様にオリンピック・パラリンピックに出場した方の講演や体験活動などを企画し、一流選手と触れる機会を設けられるようにしていきたい。</li> </ul>